

授業科目名	介護概論Ⅱ	担当教員名	松葉 修孝
必修/選択	選択 (/社会福祉主事任用資格)	開講学年・学期	2年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	その他の資格取得科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	(1)介護の目的、機能及び介護の展開方法を理解する。 (2)介護と家政、看護・医療との関係並びに範囲について理解する。 (3)身体的及び精神的な変化に対する観察能力を身に付け、それらの変化に速やかに正しく対処できる能力を養い、保健・医療機関、専門職との連携、協力及び必要に応じたその手助けをすることができるようにする。 (4)病気や遭遇しやすい事故についての知識をもち、それらに対する予防的措置を講ずることができるようにする。 (1)介護の目的、機能及び介護の展開方法を理解する。 (2)介護と家政、看護・医療との関係並びに範囲について理解する。 (3)身体的及び精神的な変化に対する観察能力を身に付け、それらの変化に速やかに正しく対処できる能力を養い、保健・医療機関、専門職との連携、協力及び必要に応じたその手助けをすることができるようにする。 (4)病気や遭遇しやすい事故についての知識をもち、それらに対する予防的措置を講ずることができるようにする。		
授業の概要	『介護』とは、狭義の意味としては1対1で行う援助の中で、その専門的な知識・技術を用いて展開される。しかし、広義の意味で捉えると、日本のみならず世界中で課題となる大きな社会問題として捉えることができる。この介護概論Ⅱでは、介護概論Ⅰで学んだ広義の『介護』を踏まえ、狭義の意味である『介護』の理解を深めるため、様々な生活場面での介護の目的や根拠を踏まえ、その生活支援技術についても学んでいく。また、社会問題となっている認知症についてもその概要と、援助の基本を学ぶ。		
テキスト	テキストの使用なし。 毎回作成するプリントに記述し、授業終了時に回収し、次回に返却する。		
参考書・参考資料等	社会福祉学習双書編集委員会「介護概論」全国社会福祉協議会、内閣府「高齢者白書」・「障害者白書」、見て覚える介護福祉国試ナビ		
成績評価の方法	参加意欲…10%、小テスト・レポート課題…40%、定期試験…50%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	生活を支える介護 生活支援技術の意義 ～相手の立場に立つことの重要性～		
第2回	生活支援技術の基本 移動の介護① 移動の意義・目的 ボディメカニクスの理解		
第3回	生活支援技術の基本 移動の介護② 移動介助の技術演習～一般の街を車いすで移動してみよう～		
第4回	生活支援技術の基本 食事の介護① 食事の意義・目的		
第5回	生活支援技術の基本 食事の介護② 食事介助の技術演習～食事を安全でおいしく食べるために～		
第6回	生活支援技術の基本 排泄の介護① 排泄の意義・目的		
第7回	生活支援技術の基本 排泄の介護② 排泄介助の技術演習～恥ずかしくなく、気持ちよくするには～		
第8回	生活支援技術の基本 清潔の介護① 身体清潔の意義・目的		
第9回	生活支援技術の基本 清潔の介護② 清潔介助の技術演習～恥ずかしくなく、気持ちよくするには～		
第10回	生活支援技術の基本 身じたくの介護 身じたくの意義・目的・技術演習～脱健着患の原則～		
第11回	生活支援技術の基本 睡眠の介護 睡眠の意義・目的		
第12回	生活支援技術の基本 終末期の介護① 終末期の介護の考え方		
第13回	生活支援技術の基本 終末期の介護② 終末期支援の基本と留意点		
第14回	認知機能が低下した人の理解と支援① 認知症とは？		
第15回	認知機能が低下した人の理解と支援② 認知症の人への支援を考える 講義のまとめ		
定期試験	筆記試験		